

| コード         | 名称               | 区分     | コード   | 名称                 |
|-------------|------------------|--------|-------|--------------------|
| 事業名         | 682 消防団本部管理経費    | 会計     | 01    | 一般会計               |
|             |                  | 款      | 09    | 消防費                |
|             |                  | 項      | 01    | 消防費                |
| 基本施策        | 16 火災を防ぎ、市民の命を救う | 目      | 02    | 非常備消防費             |
|             |                  | 細目     | 397   | 消防団本部管理経費          |
| 行革大綱の重点事項番号 |                  | 6・1    | 細々目   | 01 消防団本部管理経費       |
| 担当部課        | コード              | 220300 | 担当者氏名 | 宮本昌博               |
|             | 名称               | 消防救急課  |       |                    |
|             |                  |        | 連絡先   | 24 - 9115 (内線) 726 |

事務事業の概要 (Plan)

|           |   |       |
|-----------|---|-------|
| 対象(誰を、何を) | 消防団員  | ※対象件数 |
| 成果(どうする)  | 地域住民を火災や災害から守り、消防団員が災害現場で有効な活動、知識及び技術の向上を図ることができる。  |       |
| 根拠法令・要綱等  | 消防組織法   |       |
| 開始年度      | 平成 年度   | 関連事業  |
| 終了年度      | 平成 年度   |       |
| H21 事業内容  | 消防団員を確保し、研修及び訓練の実施により消防団員の知識と技能の向上を図り、災害対応能力を向上させる。教育訓練の実施。(初任者訓練・幹部訓練・夏期訓練・出初式)各1回<br>普通救命講習・応急手当普及員講習の実施。<br>県消防学校への入校(指導員科12名・幹部科11名)。<br>消防団車両の法定点検87台、車検修理74台等の修繕。 |       |
| 社会情勢の変化等  | 少子高齢化及びサラリーマン化により、消防団員の確保が困難な状況となっている。現在、消防団の適正化を進め、市内各地区単位で説明会を実施している状況です。   |       |

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

|              |    |           |    |
|--------------|----|-----------|----|
| 1 建設用地       |    | 1 運営主体    |    |
| 2 建設面積(延床面積) |    | 委託先       |    |
| 3 規模・構造      |    | 2 配置人員    | 人  |
| 4 総事業費       | 千円 | 3 年間運営費   | 千円 |
|              |    | 4 市内の類似施設 |    |

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

| 活動指標 | 指標名                  | 単位 | 実績値 |      | 目標値 |      |
|------|----------------------|----|-----|------|-----|------|
|      |                      |    | H20 | H21  | H22 | H23  |
| O    | 消防団員の確保(団員数÷条約定数×10) | %  | 目標  | 100  | 目標  | 100  |
|      |                      |    | 実績  | 97.4 | 実績  | 97   |
|      | 消防団員数                | 人  | 目標  | 1510 | 目標  | 1510 |
|      |                      |    | 実績  | 1470 | 実績  | 1465 |

| 成果指標 | 指標名   | 指標設定の考え方   | 単位 | 実績値 |     | 目標値 |     |
|------|-------|------------|----|-----|-----|-----|-----|
|      |       |            |    | H20 | H21 | H22 | H23 |
|      | 支援団員数 | 基本団員の補完的団員 | 人  | 目標  | 40  | 目標  | 45  |
|      |       |            |    | 実績  | 0   | 実績  | 0   |
|      |       |            |    | 目標  |     | 目標  | 60  |
|      |       |            |    | 実績  |     | 実績  | 60  |

| 投入コスト        | H20 決算     | H21 決算     | H22 当初予算   | H23 当初要求   |         |
|--------------|------------|------------|------------|------------|---------|
|              |            |            |            |            | (千円)    |
| 直接事業費計(A)    | 151,409    | 154,869    | 147,880    | 149,320    |         |
| Aの財源内訳       | 国庫支出金      | 6,605      | 6,605      | 6,626      | 6,458   |
|              | 県支出金       |            |            |            |         |
|              | 地方債        |            |            |            |         |
|              | その他        | 28,500     | 28,500     | 28,500     | 27,500  |
|              | 一般財源       | 116,304    | 119,764    | 112,754    | 115,362 |
| 事業投入人件費(B)   | 0.6人 4,320 | 0.6人 4,320 | 0.6人 4,320 | 0.6人 4,320 |         |
| フルコスト(A)+(B) | 155,729    | 159,189    | 152,200    | 153,640    |         |

事務事業の評価(Check)

| 判断の基準(該当項目に○をつけてください)             |   | 備考欄(特記事項) |
|-----------------------------------|---|-----------|
| 必要性                               | 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業  | ○         |
|                                   | 個人(の)力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業   | ○         |
|                                   | 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業  |           |
|                                   | 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業   |           |
|                                   | 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業   |           |
|                                   | 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業   | ○         |
|                                   | 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業   |           |
|                                   | 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業   | ○         |
|                                   | 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業   | ○         |
|                                   | 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業  | ○         |
| 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業     |   |           |
| 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】 |   |           |
|                                   | 財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業  | ○         |
| 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】             |   |           |
| 有効性                               | 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。                                     |           |
| 達成度                               | 当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】<br>予算の繰越の有無 無<br>【予算の繰越がある場合、繰越の種別】   |           |
| 効率性                               | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】<br>受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。 |           |

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

|          |  |
|----------|--|
| 改善策      | 消防団適正化計画で組織・団員数・ポンプ数の適正数について検討中である。                                  |
| 昨年度の取組状況 | 【状況】 計画のとおり進んでいる<br>【詳細】<br>・消防団員の地域実情を地区自治会と消防団役員会それぞれの会議で聞き取りを行った。 |

今後の方向性(Action)

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 担当課長氏名                       | 喜久永崇文   |
| 事業の方向性                       | 【方向性】 現状維持<br>【理由】<br>・多様化する災害を念頭に置き、地震・風水害等自然災害における災害活動や警戒活動をはじめ、各種災害に対する災害活動の確立をめざして、消防団員に対する教育訓練の推進・処遇改善・施設・資機材の整備を図り、活動意欲を喚起する体制づくりを進めます。 |
| 現時点における課題、その他                | ・消防団は地域の実情に明るく、しかもその組織力と大量動員が可能な役割は、極めて大きい。しかし、少子高齢化及びサラリーマン団員の増加にともない、消防団員の確保が困難になっている。  |
| 課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする) | ・平成25年度を目途に、消防団員の適正化計画を進めるとともに支援団員制度を促進する必要があります。また、事業所に消防団協力事業所表示証を交付することにより、市民や各企業に対して消防団活動に対する理解と協力を働きかけ、消防団員が活動しやすい環境づくりを図る。              |